

2024年度ブルーカーボン量（コアマモ面積）

ドローンによる空中写真撮影（2024年6月）
WebODMを用いて空中写真よりオルソ画像を作成
エクスポートしたオルソ画像をGoogleEarthに貼り付け
アマモ場縁辺の判定、ポリゴン作図により面積を算定

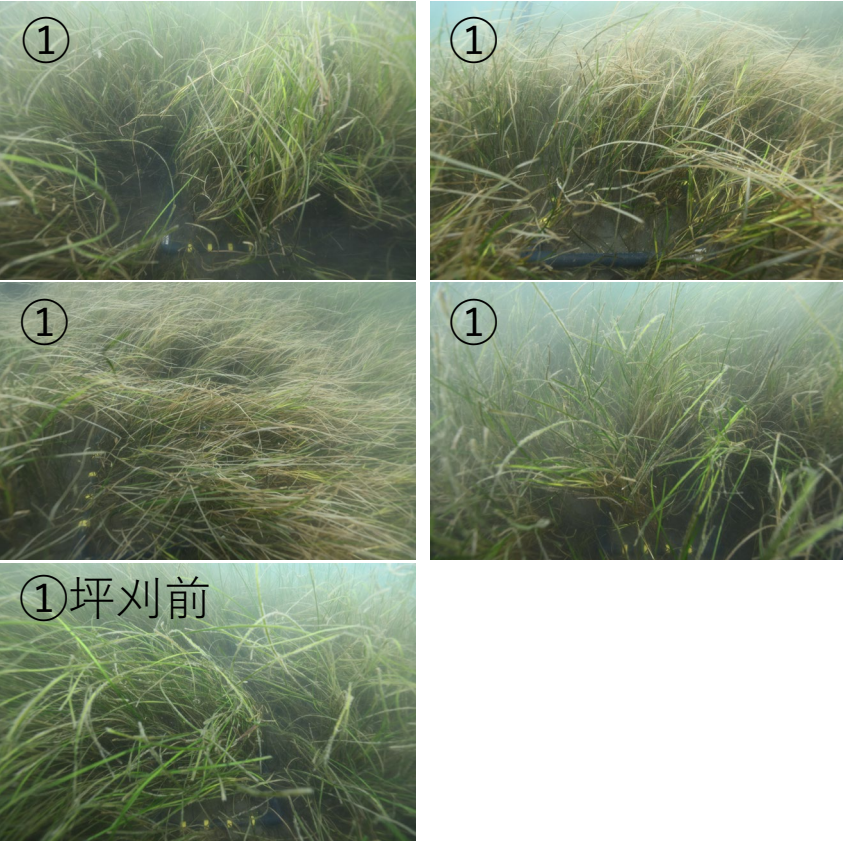


凡例	面積(ha)
○ コアマモ（被度95％）	0.2447
○ コアマモ（被度75％）	0.0896

※①では潜水によりコドラート調査をを実施し、被度を記録した。その他、番号が無い場所でも素潜りでコアマモの確認と繁茂状況の確認を実施した。

【面積に対する確実性評価について】
対象面積内は水深0.5m-3mまでであるが、算定した対象面積は平面と想定されている。そのため、実際の面積に対して過小評価を行っていることから、面積に対する自己評価を100とする。

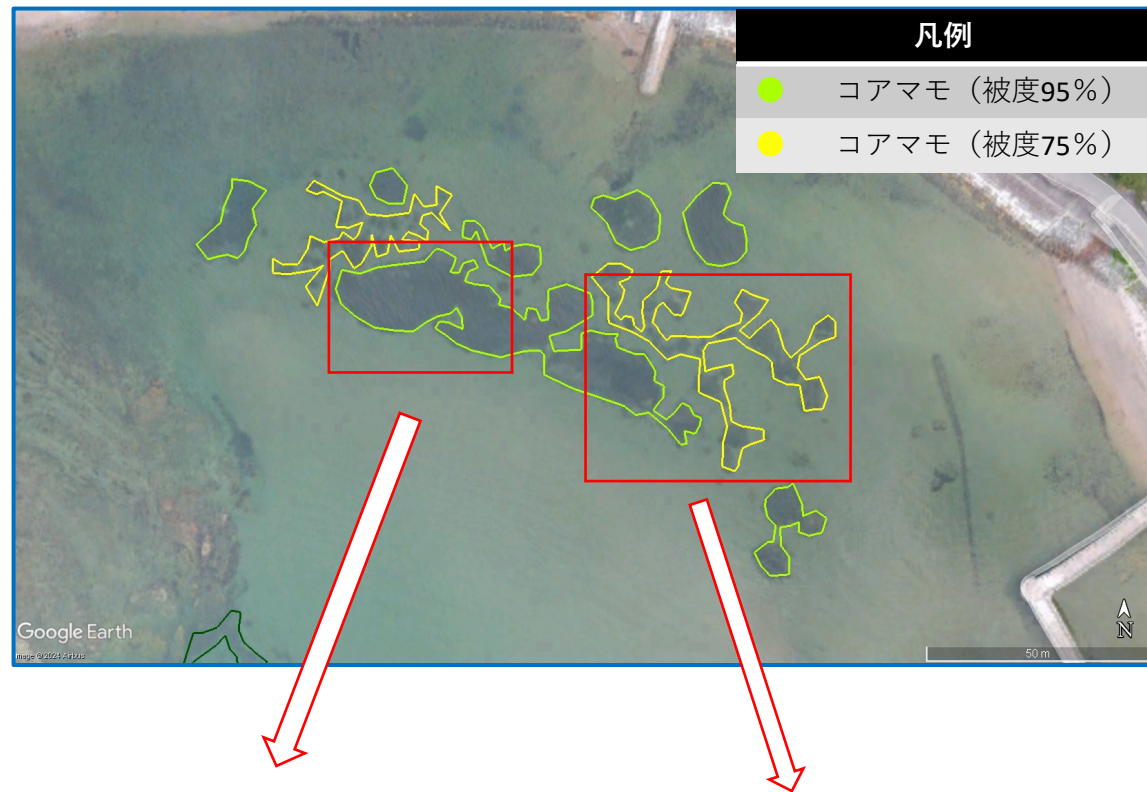
潜水目視調査による生育アマモの把握、
コドラート調査によるの被度の把握、
生育アマモの湿重量計測（2024年6月13日）



※上記の撮影場所は左図（空中写真）の番号に対応
生育アマモ：アマモ、コアマモ（面積算定に反映）
被度：アマモ：95.0％（面積算定に反映）
※各地点にてコドラート調査3枠による被度では、アマモの生育する場では全域で95％であることを確認した。
1m2当たりの湿重量 アマモ：平均4.62kg

コアマモ対象面積（実勢面積）	= 面積合計 × 被度 = 0.2447 × 95％ = 0.232465 ha	コアマモ対象面積（実勢面積）	= 面積合計 × 被度 = 0.0896 × 75％ = 0.06720 ha
合計	0.232465+0.06720 = 0.299665 ha		

2024年度ブルーカーボン量（コアマモ被度）



被度の判別は画像から、コアマモ場が濃く密に繁茂すると判読した範囲についてはコドラート調査の結果を基に被度95%とした。

また、コアマモ場がパッチ状に繁茂する為、面積の算定がしにくい場所では、生えていない場所も判読範囲に含むため、被度を75%と定義することで実勢面積を算出した。生えていても画像で判別の難しいものや小さいパッチ上で面積に反映しにくいものは除外しているため本来よりも過小評価している。

被度75%と定義した場所でもコアマモ草体の生育状況（被度や株数、草体長）は被度95%コアマモ草体と大きな違いは見られなかった。

